

支倉常長フェロー報告書

提出日 H23年 11月 25日



申請者	氏名	太田一成
	所属・職	生物化学分野・助手
出張期間	H23年 11月 7日 ~ 11月 11日	
渡航先	トロント	
渡航目的	学会参加・共同研究のための留学・( )	
発表演題名あるいは共同研究課題名	Gene regulatory network for cellular senescence by analysis of the transcription factor Bach1	

得られた成果など

TrontoのUniversity Health Networkに属するThe Campbell Family Cancer Research Instituteにて施設を見学し、共同研究について討論を重ねた。同大学は最先端の研究施設を備えた大学であり、簡便に各実験を行うことができる。ノックアウトマウスの作製やマイクロアレイや質量分析などのデータ解析は委託することができる。現在、Bach1の造血幹細胞特異的ノックアウトマウスの計画を進めており、今後の研究を進めていく上での大きなステップとなった。



プレゼンテーションは、転写因子Bach1の研究により細胞老化関連遺伝子とそのネットワークを解明するというテーマで行った。細胞老化はがん化や個体の老化に深く関与する。この研究成果を、今後は共同研究により生体内に応用することで、基礎医学だけではなく臨床応用も目指していく。

今回の訪問において、英語でのコミュニケーションの経験を積むこと、そしてカナダの文化に触れることができたことも大きな財産となった。